

公共工事発注にあたっての
総合評価落札方式
活用ガイド

技術を活かした
より質の高い
公共工事を
めざして

国土交通省国土技術政策総合研究所
総合技術政策研究センター
建設マネジメント技術研究室

はじめに

公共工事を取りまく環境は、近年、大きく変化してきています。価格と品質の両面で優れた工事であると同時に環境面や省資源への配慮、さらに建設される構造物の維持管理費の削減といった多様なニーズを満たした工事が求められてきています。一方で、政治や行政に対する不信から、より一層公正で公明な入札・契約を求めるニーズも高まってきています。

総合評価落札方式は、こうした新しい社会と時代の要請に応えるために導入された入札・契約方式です。公正さを確保しつつ民間技術を活用し、良質な工事を低廉な価格でタイムリーに調達する。そのことによって公共工事のハードとソフト面の総合的なレベルアップをはかる—これが総合評価落札方式がめざすものです。

この活用ガイドは、現在、総合評価落札方式を実施している国及び検討している地方公共団体の発注担当者のために編まれました。本方式をご理解の上、今後の入札・契約業務の一助になれば幸いです。

C O N T E N T S

Part1. 総合評価落札方式のねらいと新しい評価の方法

1. 総合評価落札方式がめざすもの	1
「価格」と「価格以外の要素(技術力)」を総合的に評価／総合評価落札方式3つのメリット	
2. どんな工事に適用されるのか	2
総合評価落札方式の適用が望ましい工事／標準ガイドラインによる評価する項目の例示／地方公共団体で実施する場合の注意点	
3. 何を評価するか	3
評価の対象は、住民や利用者にとってメリットのある価格以外の要素	
4. どう評価するか	4
落札者決定のキメ手は評価値／「必須評価項目」と「必須以外評価項目」	
5. クリアすべき最低要件	5
予定価格と基準評価値	
性能等のみを評価した場合の評価事例	
A. 必須評価項目のみを評価	6
B. 必須評価項目と必須以外評価項目を評価	8
C. 必須以外評価項目のみ評価	10
性能等以外のコストを評価した場合の事例	
D. 工事価格以外の「その他コスト」を評価	12
評価値の算出・総まとめ	14

Part2. 総合評価落札方式の実施手順

1. 透明性の高い手続と公正な評価	15
入札・契約方式／発注者責任を果たすために	
2. 総合評価落札方式の全体的な流れ	16
公正さと公明性の確保／評価項目の選定から落札者の決定、工事完成まで	
3. 具体的な実施手順	
(1) 評価項目の設定	17
何を評価するか	
(2) 評価基準の設定	18
評価指標の設定／評価方式の設定／ペナルティ	
(3) 技術提案の審査と評価	19
技術提案の募集／技術提案の審査	
(4) 履行検証	20
履行検証の目的／履行検証の内容	
参考 国土交通省における総合評価落札方式の標準手続きフロー.....	22